

ストップ温暖化！県民総ぐるみBDFキャンペーン

町では、地球温暖化によるリスクを低減し、持続可能な未来を実現していくため、熊本連携中枢都市圏として「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指しています。その取り組みの一つとして、今年度も家庭用天ぷら油の回収を行います。

ご家庭で出た廃食油を、以下の回収場所にお持ちください。

回収した廃食油はBDF（バイオディーゼル燃料）としてディーゼル車両や発電機等で利用され、二酸化炭素（CO₂）排出量の削減につながります。

期 間：令和2年12月1日から令和3年1月29日まで

回収場所：役場環境水道課、清和支所健康福祉係、蘇陽支所健康福祉係の窓口

回収時間：平日の8時30分から17時まで

回収可能な油：天ぷら油等の植物油 ※家庭から出たものに限りです。

※動物油（ラード等）、鉱物油（エンジンオイル等）は回収できません。

回収方法：天かす等のゴミを除き、ペットボトルや油購入時のプラスチック容器等に入れ、キャップやふたをしっかりと閉めてお持ちください。

【キャンペーン中に回収可能な廃食油をお持ちいただいた方には、くまモンウッドトレイをプレゼントします。（※数に限りがあります）】



問合せ先 環境水道課 ☎ 72-4002

町の公用車の売却（せり売り）を行います！

○ 一般競争入札（せり売り）に付する物件の表示（R 2. 12. 9現在）

物件1 トヨタ ハイエース

車体色 白
初年度登録年月 平成11年9月
排気量 2,980cc（軽油）
走行距離 220,629km
登録番号 熊本300さ7262
車検満了日 令和2年9月18日（車検なし）



物件2 トヨタ ダイナ（ダンプ）

車体色 黄色
初年度登録年月 平成3年9月
排気量 2,770cc（軽油）
走行距離 202,788km
登録番号 熊本46ち2189
車検満了日 令和3年2月1日



1. 入札の日時及び場所

令和3年1月15日（金）午前10時・役場本庁舎2階 2-2会議室

2. 売却車両の展示日時及び場所

令和3年1月14日まで（※土・日・祝日を除く）

午前9時～午後5時 山都町役場本庁 西側駐車場及び第5駐車場

※下見を希望される場合は、事前にご連絡ください。（試乗不可）

※参加希望には、入札保証金（見積額の5%以上の額）が必要です。

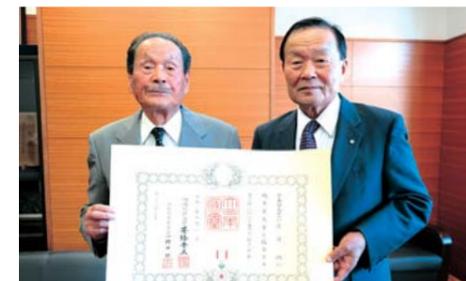
※入札参加資格については、問合せ先にご連絡ください。

問合せ先 総務課 監理係 ☎ 72-1111

高齢者叙勲（旭日単光章） 受章

10月21日、町長から渡辺地さんに叙勲が伝達されました。

この叙勲は、9月1日、永年の地方自治功勞に対して今上天皇から授与されたもので、渡辺さんは、昭和42年4月に矢部町議会議員に初当選以来、昭和60年9月まで、通算5期約18年に渡り在職され、議長、副議長、建設常任委員会委員長、総務常任委員会委員、監査委員を歴任されるなど、町の進展に大きく貢献されました。



令和2年度山都町表彰

11月2日、町では、自らの豊富な経験等を基に、独自の活動や地域における様々な活動に携われ、本町の町政の発展及び町民の福祉の増進等に寄与し、その功績が顕著又は町民の模範となる善行を認める方に対し、これまでの永年の功績を讃えるために表彰を行いました。

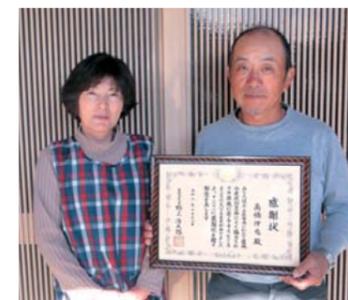
田中キミエさん（畑）は、永年に亘り、地域の町道上畑線の草刈り、側溝清掃を行われるなど、地域における道路の維持及び安全に尽力いただきました。表彰当日は、都合が合わず代理の方に受領いただきました。



農林水産大臣より感謝状

「統計の日」を記念して、農林水産省が実施する農林水産統計調査に永年にわたり協力された方々に対し、その功績を称え農林水産大臣から感謝状が贈られました。

山都町からは、25年協力された高橋 伸也さん（御所）と、20年協力された高森 雄二さん（入佐）の二人が受賞されました。



高橋伸也さんご夫妻



高森雄二さん

法務大臣より感謝状

11月4日、役場応接室において感謝状伝達式が行われ、町長と熊本県人権擁護委員協議会長の立会いのもと、熊本地方法務局人権擁護課長より人権擁護委員を退任されました上村正則さん（仏原）へ、10月1日付けで法務大臣からの感謝状が贈られました。

上村さんは人権擁護委員として、2期6年にわたり地域の皆さんからの人権相談に携わり、人権尊重の普及・高揚の啓発活動に取り組まれました。



県警本部と県防犯協会連合会より感謝状

11月19日、剣道指導を通して少年の健全育成に多大な貢献をされたとして山下雄一さん（城原）に少年剣道指導功勞感謝状が贈呈されました。山下さんは約20年間にわたり少年剣道クラブ「洗心会」の指導を通じ、これまで約100名の少年剣士を育成されました。山下さんは「私自身が子供たちに育てて頂きました。子供たちと、携われたすべての方々に対する感謝状だと思いと感無量です」と思いを語っていただきました。

